



令和3年度広島市IR資料

広島市財政局財政課



(広島のまち)

■ 国際平和文化都市	2
■ 行事	4
■ 観光・文化	5
■ 市の概要	6
■ 交通アクセス	7
■ 市のまちづくり	8

(新型コロナウイルス感染症拡大への対応)

■ 予算の措置状況	14
-----------	----

(財政状況と健全化への取組)

■ 歳入構造	15
■ 歳出構造	16
■ 市税収入決算の推移	17
■ 基金残高の推移	18
■ 一般会計の市債発行額と残高の推移	19

■ 特別会計・企業会計決算の状況	20
■ 主な出資団体の経営状況	21
■ 「財政運営方針」について	23
■ 健全化判断比率の状況	24

(広島市の資金調達)

■ 起債運営	25
■ 市場公募債発行計画	26



国際平和文化都市 ～世界恒久平和の実現に向けて～

迎える平和の取組み

被爆の実相に触れてもらい、**平和を希求する「ヒロシマの心」**を市民社会に共有してもらう

令和元年11月 ローマ教皇の来訪





国際平和文化都市 ～世界恒久平和の実現に向けて～

平和に関する発信力の更なる強化

平和記念資料館再整備

東館 平成29年4月リニューアルオープン

新たに被爆前の広島の町並みの姿を紹介するほか、原爆投下により一瞬で廃墟となる様子をコンピュータグラフィックで展示



本館 平成31年4月リニューアルオープン

遺品や被災写真など被爆の事実を直接肌で感じとれる実物資料を中心とした展示



旧中島地区被爆遺構の展示整備

被爆前は多くの人々が暮らす町であった旧中島地区の様子と原子爆弾による被害の実相が分かる遺構を発掘・展示



資料館東館北側において被爆遺構を検出



令和3年度末の展示公開を目指す



行事 ～広島の行事～

フラワーフェスティバル
(5月3日～5日)



平和記念式典
(8月6日平和記念公園)



とうろう流し
(8月6日元安川)





観光・文化 ～広島の観光名所(世界遺産等)～

原爆ドーム
(世界遺産)



平和記念資料館
(戦後建築物初の重要文化財)



広島城



MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島





市の概要 ～広島市ってこんなまち～



人口

1,194,833人

(令和3年8月1日推計人口)



面積

906.69km²

(令和2年10月1日現在)



気象

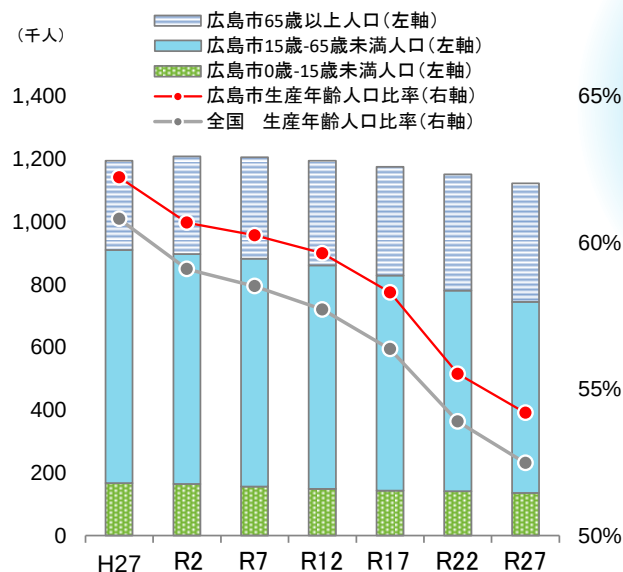
平均気温17.1℃

年間降水量2,027mm

20政令市中第10位の人口を有しています。
人口は、今後緩やかに減少する見込みです。

いわゆる「瀬戸内気候区」に属しており、冬は瀬戸内海に
流れ込む暖流の影響もあり、比較的温和な気候です。

人口推移・推計



※ 国立社会保障・人口問題研究所の推計人口(平成30年推計)



面積ランキング

	都市名	面積(KM ²)
1	浜松市	1,558.06
2	静岡市	1,411.83
3	札幌市	1,121.26
4	広島市	906.69
5	京都市	827.83
	...	...

略年表

明治22年	市制施行
昭和20年	原子爆弾により壊滅
昭和24年	「広島平和記念都市建設法」公布
昭和55年	政令指定都市広島誕生
昭和60年	人口100万人突破
平成元年	市制施行100周年
平成6年	第12回アジア競技大会広島開催
平成21年	(新)広島市民球場開設
平成22年	政令指定都市移行30周年
平成23年	松井市長就任 (平成27年再任、平成31年再任)



交通アクセス ～広島市ってこんなまち～

広島市への交通アクセス



飛行機で広島空港まで

札幌	約2時間
仙台	約1時間30分
東京	約1時間20分
沖縄	約1時間45分

※広島空港から広島市内中心部までリムジンバスで約50分

新幹線で広島駅まで

仙台	約6時間
東京	約4時間
名古屋	約2時間20分
新大阪	約1時間30分
博多	約1時間
鹿児島	約2時間30分

広島市内交通

- 自動車専用道路網
- 鉄軌道系交通機関等

新交通システムの長さ
日本一！！

アストラムライン



JR新幹線・在来線



編成数・年間輸送人員
日本一！！

広電宮島線・路面電車



山陽自動車道

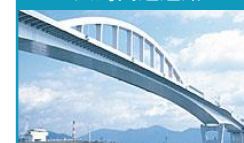


その他の自動車専用道路



仁保JCT

広島高速道路



高速3号線宇品大橋

広島港航路





市のまちづくり ～200万人広島都市圏構想～

周辺25市町の連携により圏域内人口**200万人超**の維持を目指す

- 「ローカル経済圏」の構築
- 広域的公共交通網等の
充実・強化
- 施策の共同実施や行政資源の相互利用 など

**地方分権・地方創生の
更なる推進**



25市町で構成する「広島広域都市圏」



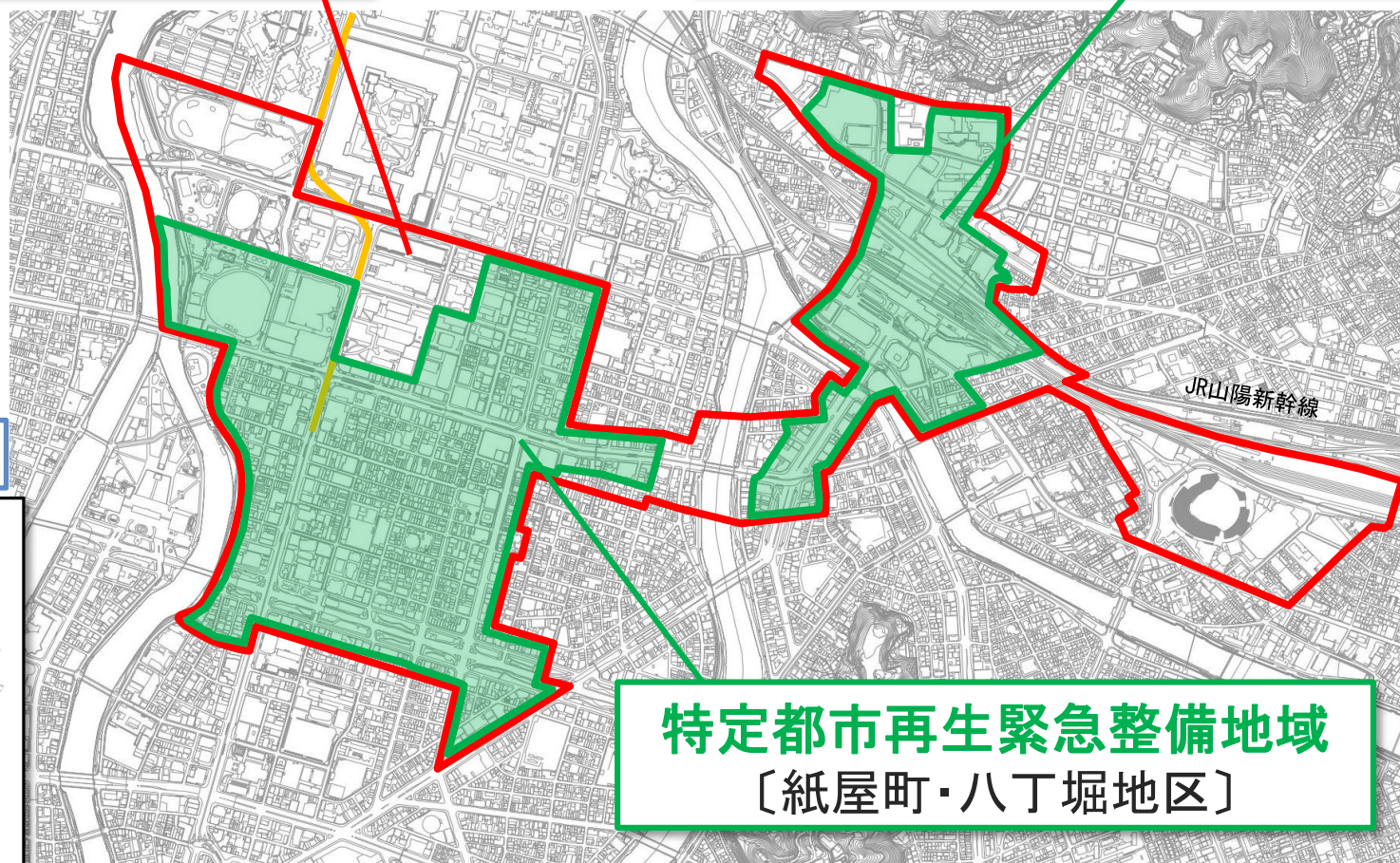
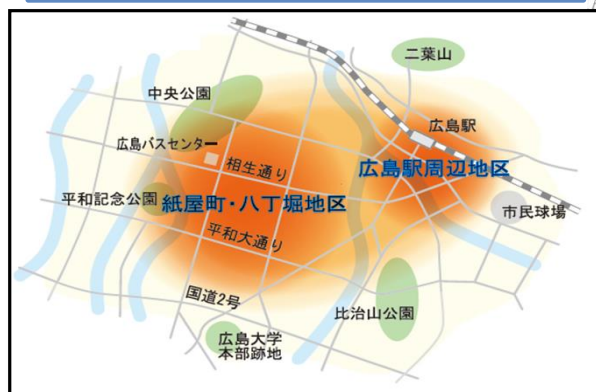
市のまちづくり ～都心の大改造～

都市再生緊急整備地域等の指定状況

都市再生緊急整備地域
〔広島都心地域〕

特定都市再生緊急整備地域
〔広島駅周辺地区〕

「楕円形の都心」のイメージ

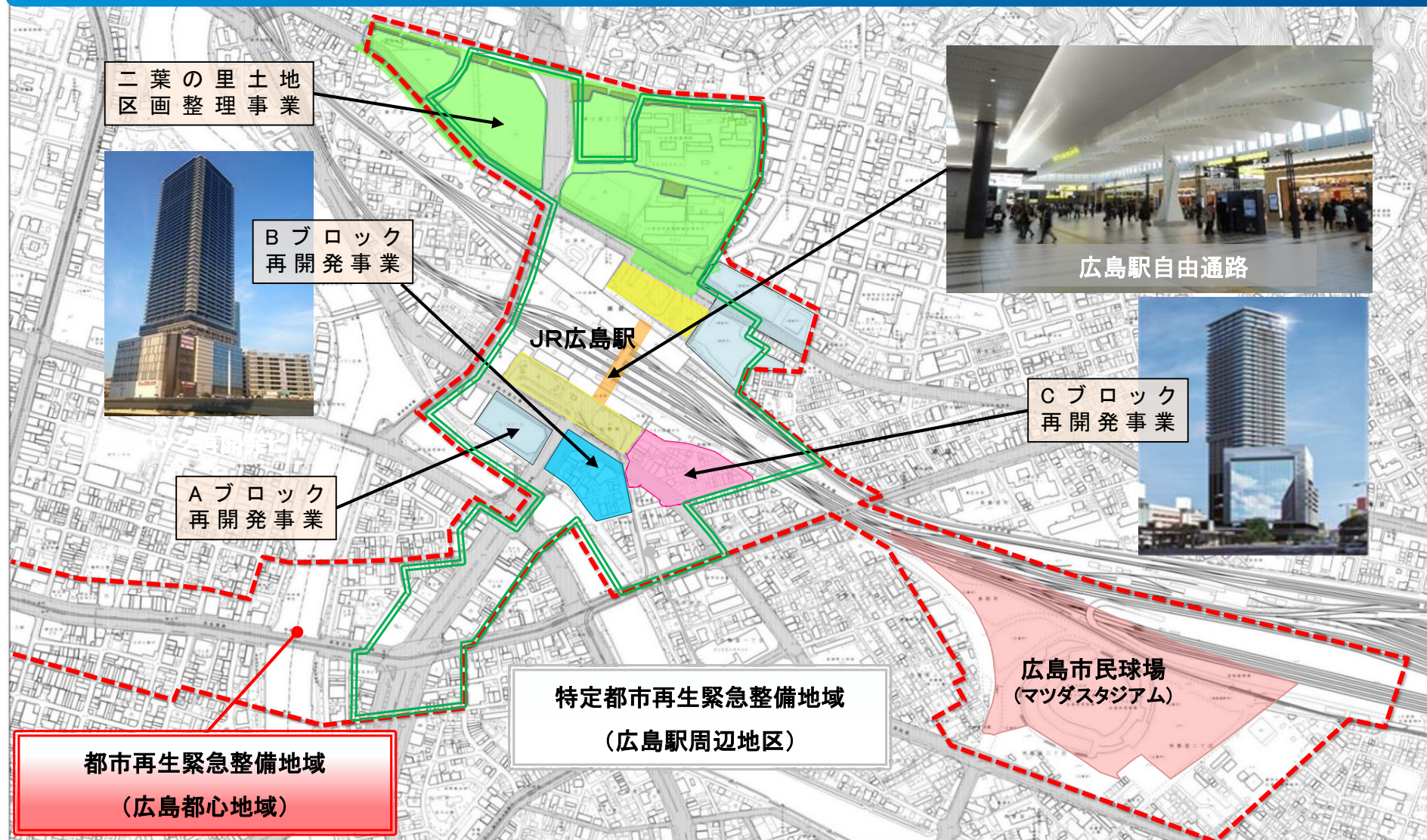


特定都市再生緊急整備地域
〔紙屋町・八丁堀地区〕



市のまちづくり ～都心の大改造～

広島駅周辺地区の整備



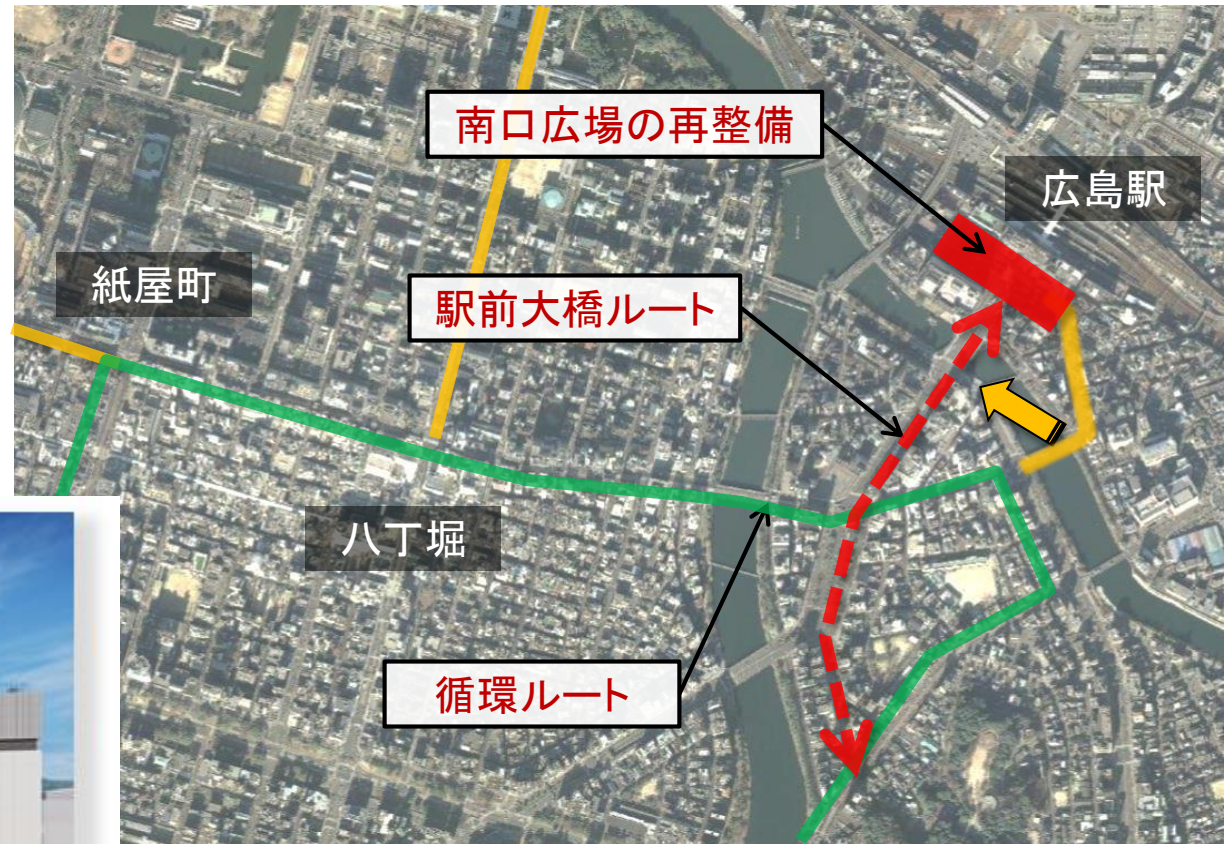


市のまちづくり ～都心の大改造～

広島駅周辺地域の整備



広島駅南口広場整備のイメージ(内観)



広島駅南口広場整備のイメージ(外観)



市のまちづくり ～サッカースタジアムの建設～

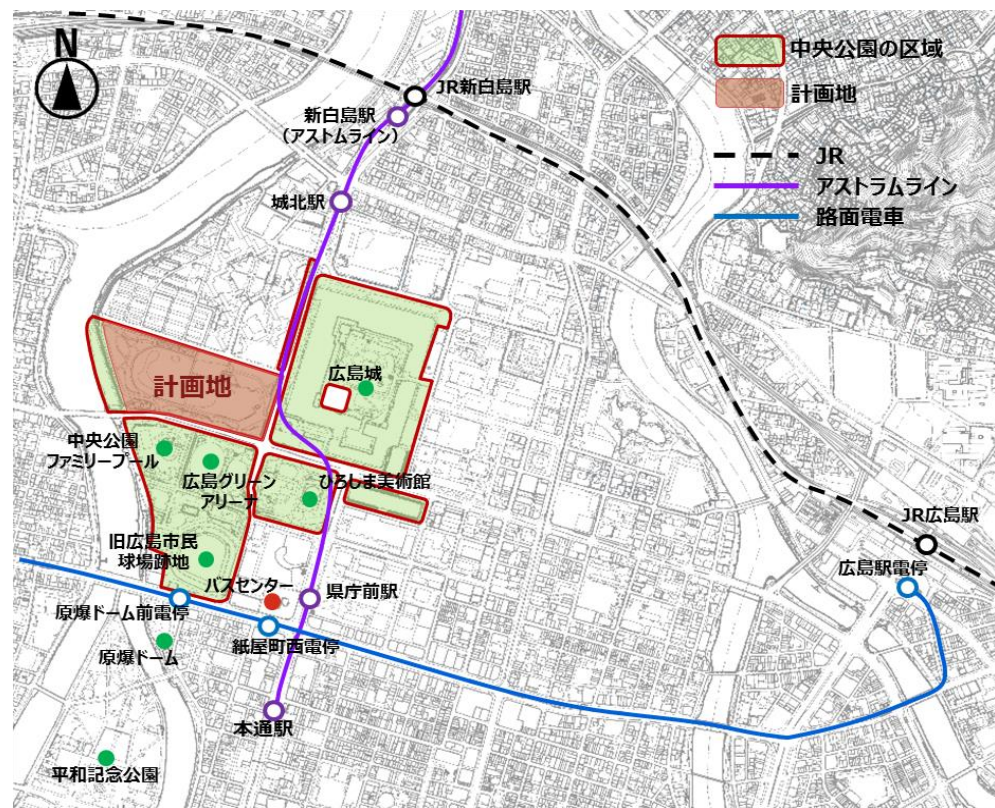


整備イメージ(鳥瞰)



整備イメージ(外観)

※整備イメージは、今後の設計等により変更となる場合があります。

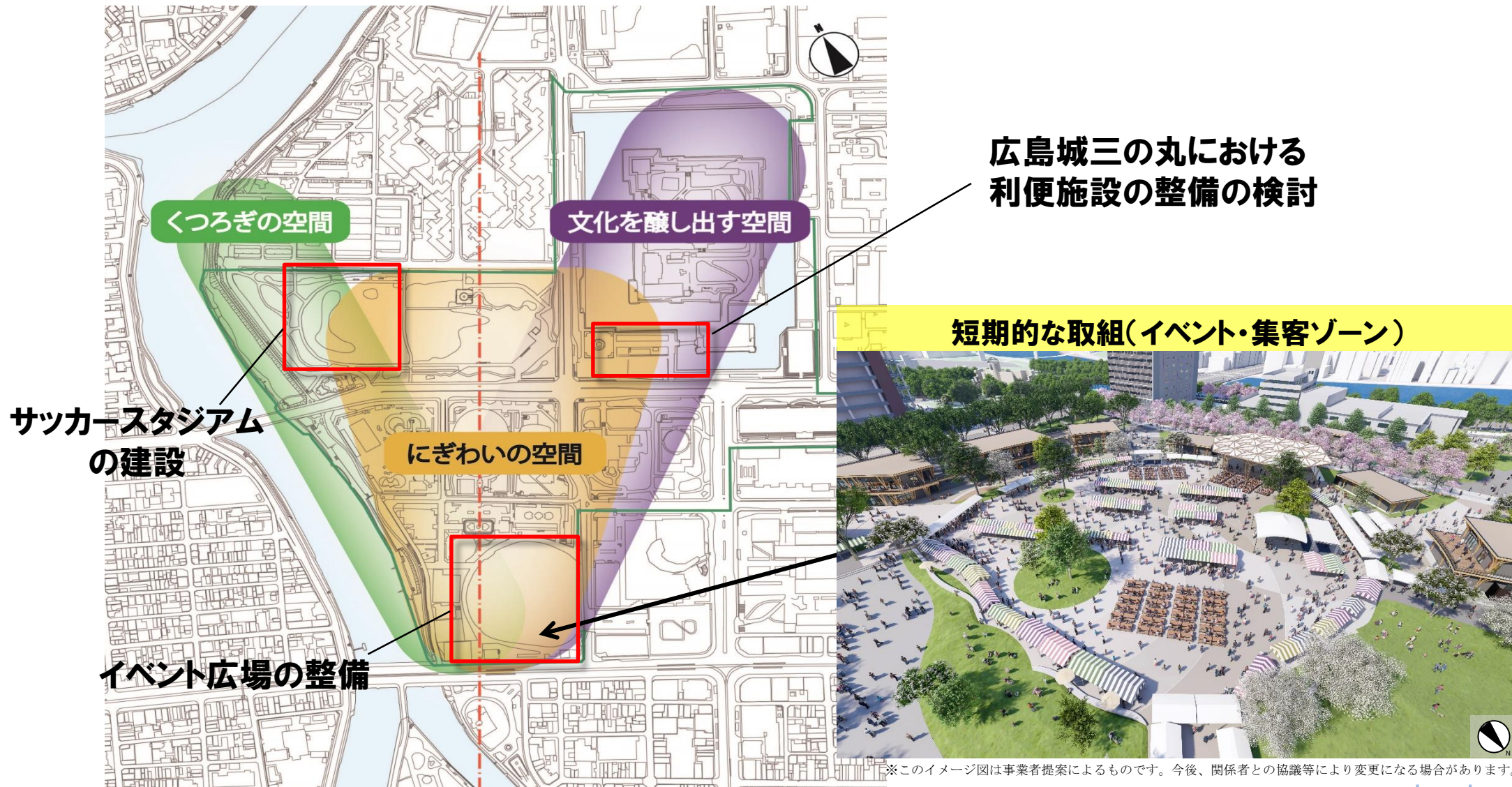


R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
事業者選定			
	基本・実施設計		
	建設工事		



市のまちづくり ～旧市民球場跡地を含む中央公園全体の今後の活用～

3つの空間特性



※このイメージ図は事業者提案によるものです。今後、関係者との協議等により変更になる場合があります。



新型コロナウイルス感染症拡大への対応 ～予算の措置状況～

令和3年度補正予算額の内訳(令和3年9月末現在)

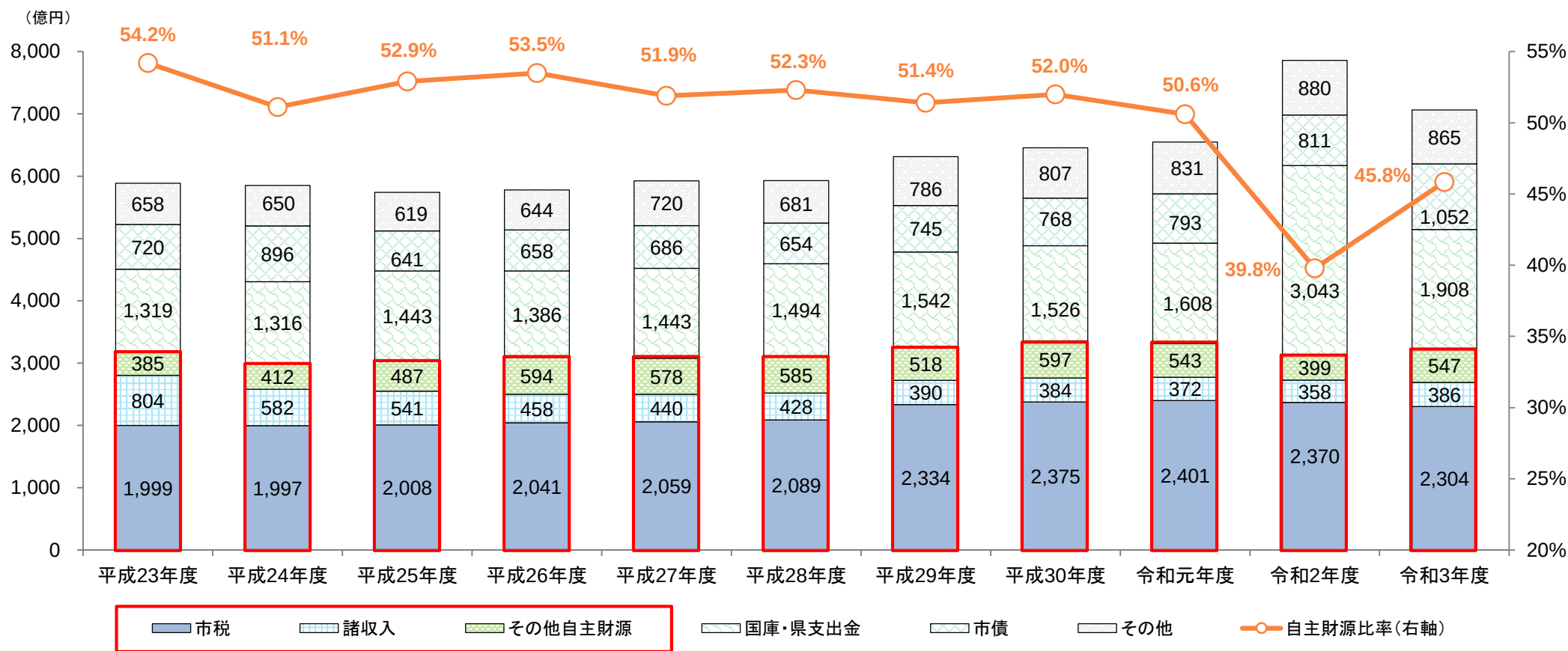
主な事業(新型コロナウイルス感染症関連事業)

事業名		事業費		事業概要
			うち一般財源	
新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る経費の追加措置	(9月補正)	54億1,468万円	0円	希望する市民に対するワクチン接種を早期に完了させるため、集団接種会場の設置や、コールセンターの体制強化等に係る必要額を追加措置する。
生活支援特別給付金の支給	(4月専決) (6月補正)	19億9,641万円	0円	低所得の子育て世帯へ生活支援特別給付金を支給する。
アフターコロナを見据えた中小企業等の活性化支援	(9月補正)	12億2,725万円	0円	- 広島市販路拡大等チャレンジ応援実行委員会の取組を支援する。 「新しい生活様式」に対応した新たな事業環境の整備等に取り組む中小企業者等を対象に、新たな融資制度を設ける。
PCR検査の実施に係る経費の追加措置	(9月補正)	11億3,178万円	0円	症状がある方などに対するPCR検査数の増加に対応するため、検査に要する自己負担分の費用助成等に係る必要額を追加措置する。
バス、路面電車などの交通事業者への支援	(9月補正)	5億7,500万円	0円	外出自粛や休業要請等により移動需要が激減し、厳しい経営状況にあるバス、路面電車などの交通事業者に対し、PASPYによる運賃割引に要する経費を補助する。
生活困窮者自立支援金の支給	(6月補正)	5億3,011万円	0円	生活困窮者へ新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給する。
感染拡大防止等に取り組む事業者への支援	(6月補正)	5億円	0円	苦境に立たされている多くの中小事業者が、共助の精神の下、団体又はグループで感染拡大の防止を図りながら事業を維持するために行う取組に要する経費を補助する。



歳入構造(一般会計) ～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 令和2年度一般会計決算の自主財源比率は39.8%で、自主財源の75.8%が市税である。
- 自主財源比率は、コロナによる特殊要因の影響が大きい令和2年度を除くと、概ね50%程度で推移している。
- 平成29年度に市税が大幅に増加しているのは、県費負担教職員制度に係る権限移譲に伴う税源移譲による影響である。



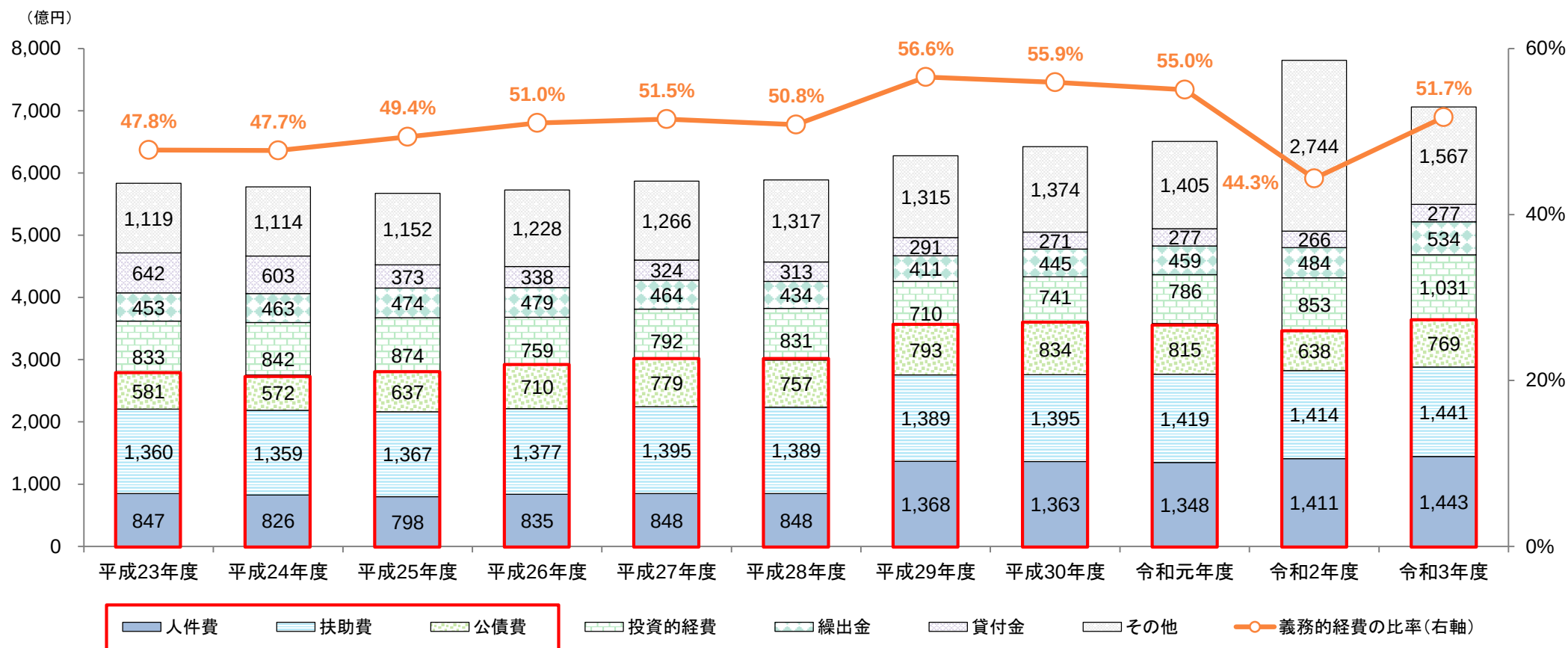
※ 令和2年度までは決算額、令和3年度は9月補正後予算額

※ 平成29年度における県費負担教職員制度に係る包括的な権限の移譲に伴う財源措置分(分離課税所得割交付金及び県民税所得割臨時交付金)については市税に含めている(平成29年度以降)。



歳出構造(一般会計) ～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 令和2年度一般会計決算の義務的経費比率は44.3%である。
- 義務的経費比率はコロナによる特殊要因の影響が大きい令和2年度を除くと、概ね50%前後で推移している。
- 平成29年度より人件費が大幅に増加しているのは、県費負担教職員制度に係る権限移譲による影響である。

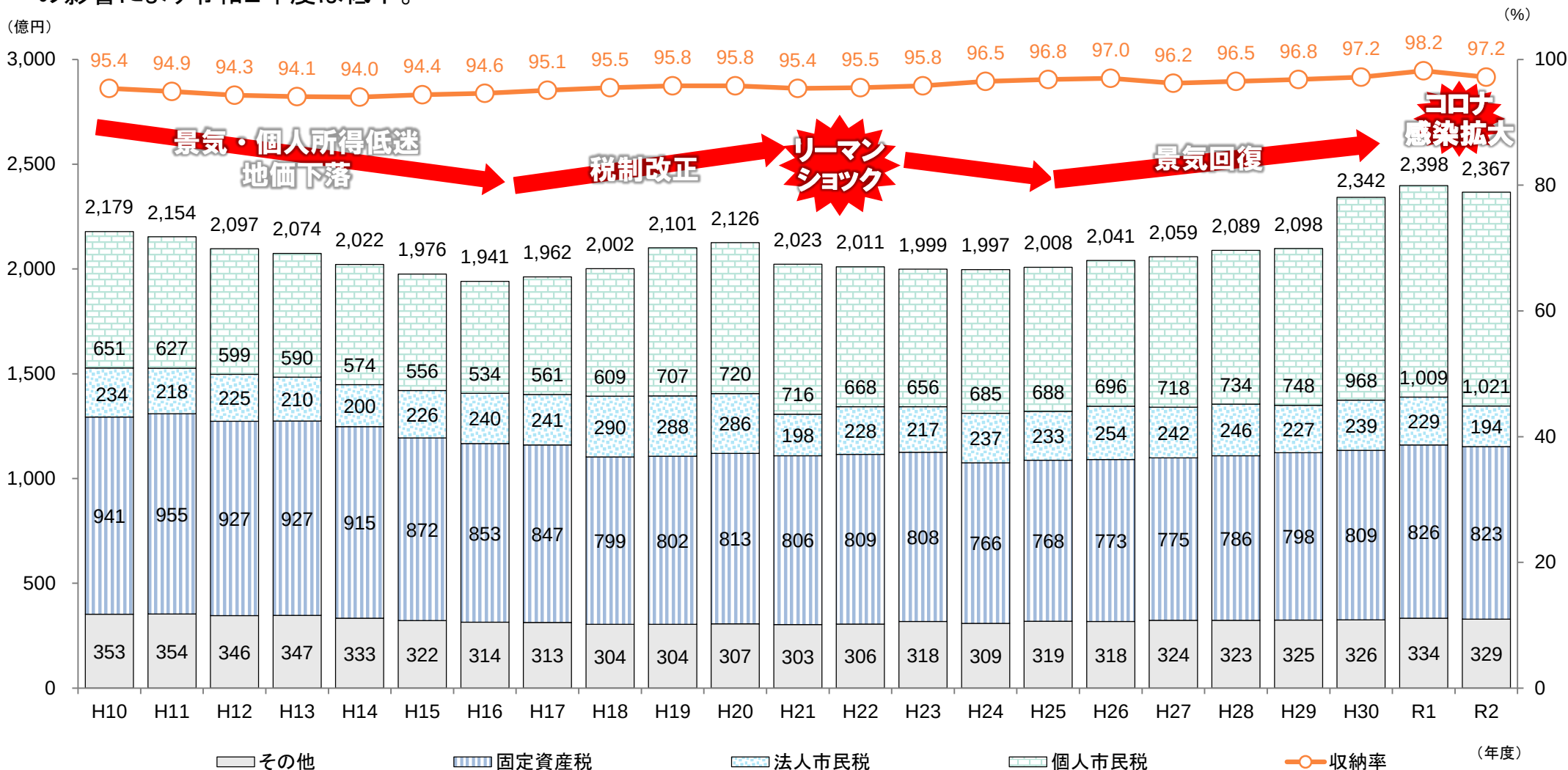


※ 令和2年度までは決算額、令和3年度は9月補正後予算額



市税収入決算の推移 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 景気の動向や税制改正の影響を受けて、市税は増減。収納率は、28年度以降は上昇を続けていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は低下。



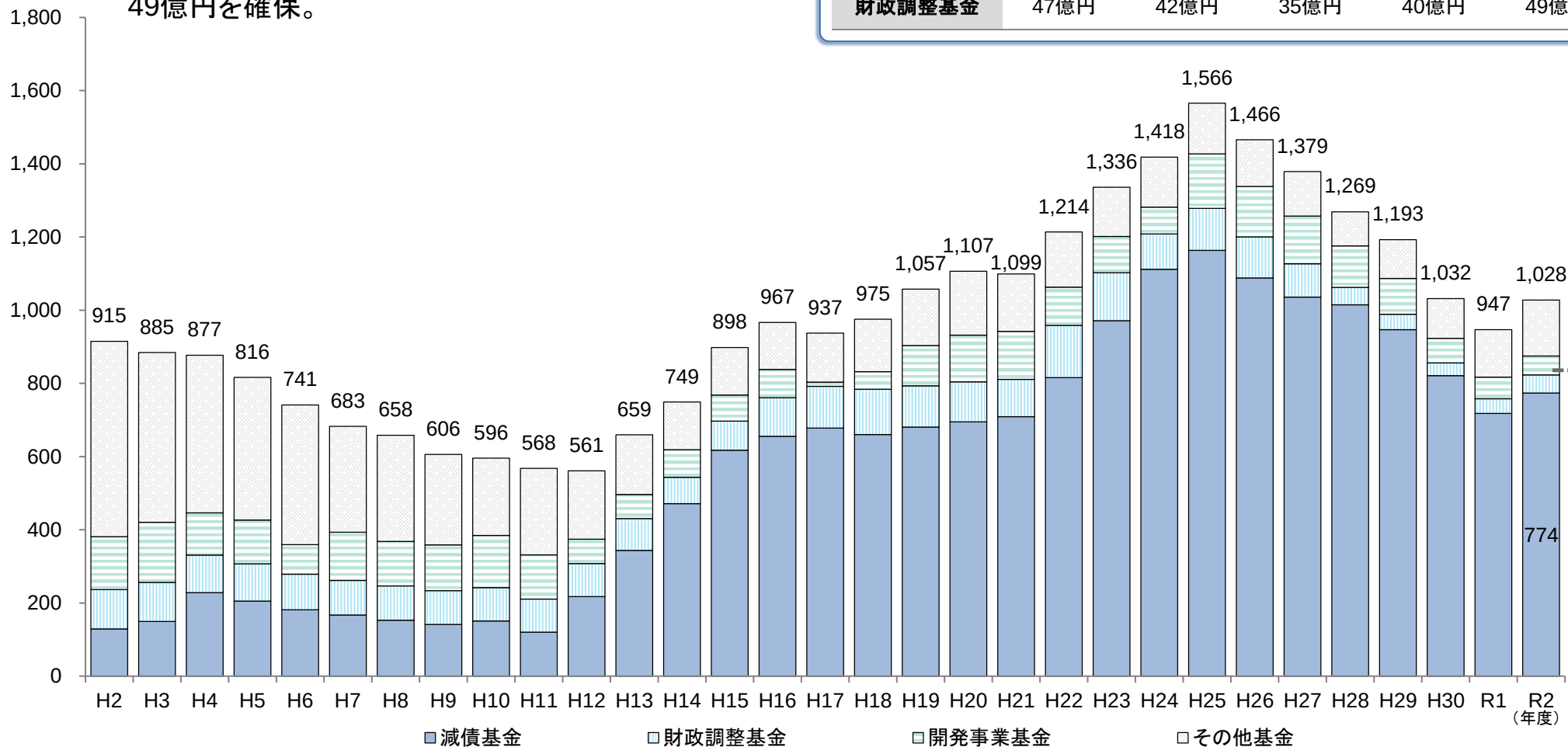
※ 平成30年度は県費負担教職員制度の見直しに伴う税源財移譲等により個人市民税が大幅に増加している。



基金残高の推移 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 令和2年度末の基金合計は1,028億円。
- このうち財政調整基金は財政運営方針の目標を上回る49億円を確保。

(億円)



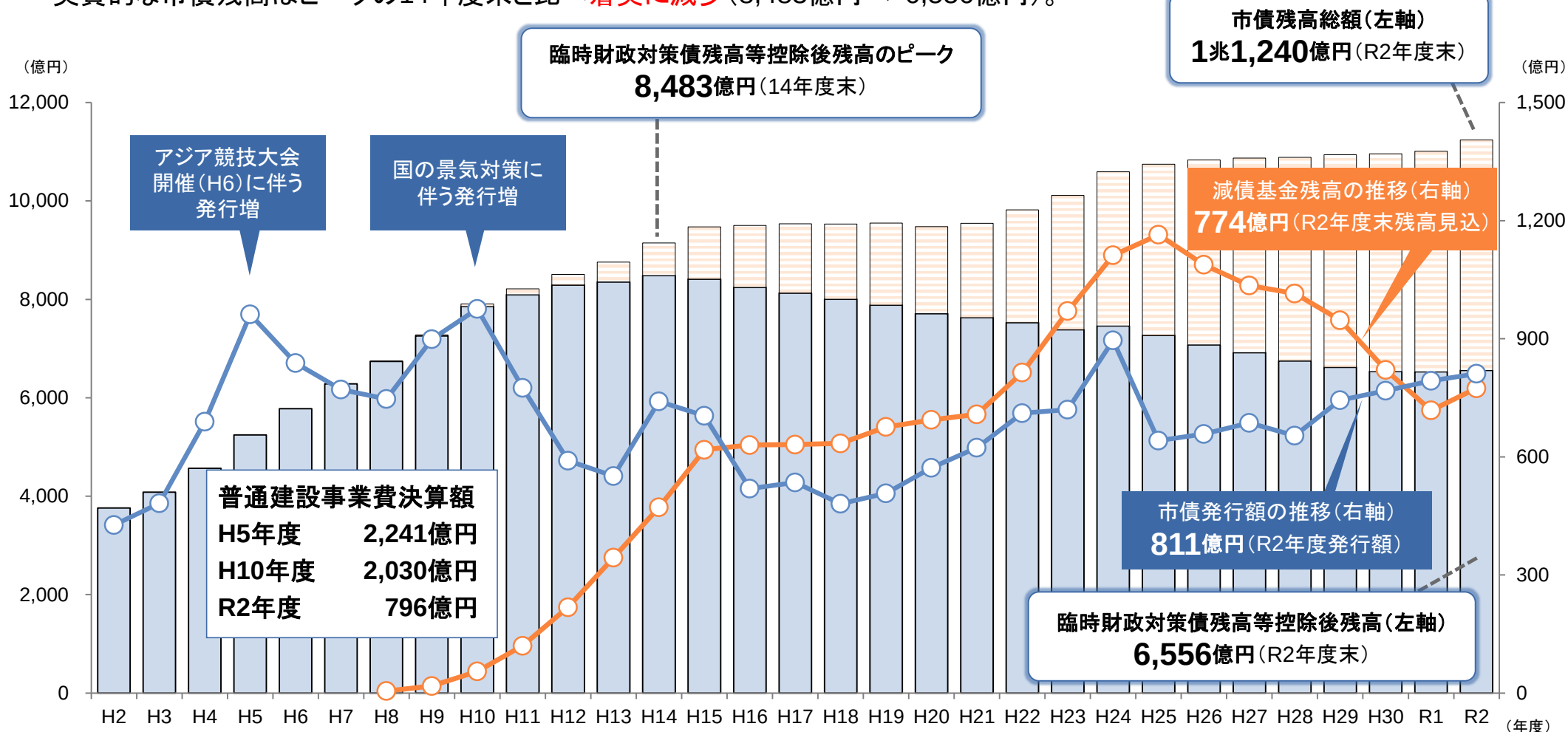


一般会計の市債発行額と残高の推移 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

臨時財政対策債残高等
控除後残高とは

市債残高総額から臨時財政対策債の残高と減債基金積立累計額を除いた実質的な市債残高

- 実質的な市債残高はピークの14年度末と比べ**着実に減少**(8,483億円 ⇒ 6,556億円)。





特別会計・企業会計決算の状況 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

■ 令和2年度決算(特別会計)

(単位:百万円)

会計名	歳入A	歳出B	差引額(A-B)C	翌年度繰越充当財源D	実質収支(C-D)	一般会計からの繰入
特別会計	421,888	417,690	4,198	55	4,142	
住宅資金貸付	9	3	5	-	5	
母子父子寡婦福祉資金貸付	1,001	282	719	-	719	0
物品調達	53	46	8	-	8	
公債管理	153,682	153,682	-	-	-	85,889
広島市民球場	1,303	1,303	-	-	-	306
用地先行取得	444	444	-	-	-	
西風新都	1,210	1,210	-	-	-	1
後期高齢者医療	15,592	15,506	86	-	86	2,541
介護保険	97,806	97,063	744	-	744	14,783
国民健康保険	107,397	106,298	1,099	-	1,099	7,642
競輪	21,151	19,670	1,481	-	1,481	
中央卸売市場	2,938	2,883	55	55	-	1,079
国民宿舎湯来ロッジ等	90	90	-	-	-	72
駐車場	700	700	-	-	-	
開発	1,246	1,246	-	-	-	
市立病院機構資金貸付	17,265	17,265	-	-	-	
財産区会計	51	6	45	-	45	
元宇品町財産区	33	5	28	-	28	
三入財産区	7	0	6	-	6	
砂谷財産区	11	0	11	-	11	
合 計	421,939	417,696	4,243	55	4,187	112,313

※ 百万円単位に四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

■ 令和2年度決算(企業会計)

(単位:百万円)

区分	収益的収支(損益勘定)			資本的収支(資本勘定)					
	収入	支出	収支差引	収入	企業債	支出	企業債償還金	収支差引	補填財源
水道事業	22,788	22,499	290	4,616	4,331	13,470	5,792	▲8,855	8,855
下水道事業	42,848	41,650	1,199	43,029	31,676	62,938	43,857	▲19,908	19,908
安芸市民病院事業	2,066	2,064	2	113	-	160	160	▲47	47
合 計	67,702	66,212	1,491	47,758	36,006	76,568	49,809	▲28,810	28,810

※ 百万円単位に四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。



主な出資団体(第3セクター)の経営状況

～広島市の財政状況と健全化への取組～

令和2年度

(単位: 百万円)

区分			広島高速道路公社	株式会社			
				広島市流通センター	広島高速交通	広島駅南口開発	広島地下街開発
出資	資本金		86,627	1,000	10,000	5,960	100
	うち本市出資額		43,314	700	5,100	3,762	-
	(出資比率%)		(50.0)	(70.0)	(51.0)	(63.1)	(43.3)
貸借対照表	資産	流動資産	14,403	169	3,225	1,075	803
		固定資産	397,513	4,098	34,375	30,004	11,542
		繰延資産	392	0	0	0	0
		資産合計	412,307	4,266	37,599	31,079	12,346
	負債	流動負債	31,240	127	18,027	877	6,946
		固定負債	214,053	169	18,987	24,114	11,984
		特別法上の引当金等	80,253	0	0	0	0
		負債合計	325,546	297	37,013	24,991	18,930
	純資産	資本金	86,627	1,000	10,000	5,960	100
		剰余金等	134	2,970	▲ 9,414	128	▲ 6,684
		純資産合計	86,762	3,970	586	6,088	▲ 6,584
		負債・純資産合計	412,307	4,266	37,599	31,079	12,346
損益計算書	経常損益	営業収益 a	11,149	473	3,750	2,037	936
		営業費用等 b	10,281	216	4,088	1,592	1,047
		営業利益 c = a - b	868	256	▲ 338	446	▲ 112
		営業外収益 d	296	1	8	15	30
		営業外費用 e	1,164	3	144	330	54
		経常利益 c + d - e	0	255	▲ 474	131	▲ 136
	特別損益		0	0	89	▲ 3	0
	当期利益(税引前)		0	255	▲ 385	130	▲ 136
	当期利益(税引後)		0	177	▲ 395	89	▲ 136

※ 広島地下街開発(株)は、平成22年度に資本金を1億円に減資しているが、本市の出資比率は、従前同様43.3%である。



主な出資団体(第3セクター)の経営状況

～広島市の財政状況と健全化への取組～

■ 経営状況・事業計画

広島高速道路公社	令和3年度は、事業中路線である広島高速5号線において、トンネル工事等を進める。
広島市流通センター(株)	- 自動車運輸業界においては、前年度における消費増税の影響が残る中、新型コロナウイルスの影響が加わり、国内貨物の輸送量は対前年度6.8%減となった。こうした状況の中、トラックターミナル部門のバースの利用が増加したこと等により、総売上高は4億7,258万6千円となった。 - 令和3年度は、国内貨物の輸送量の前年度における大幅減の反動による増加が見込まれ、引き続き黒字を確保する見込である。
広島高速交通(株)	- 令和2年度は、年間輸送人員は1,839万6,778人、1日平均で5万402人となり、前年度と比較して1日平均で1万5,210人、23.2%の減少となった。当期純損失は3億9,546万円となり、赤字となった。また、累積損失は94億1,390万円となった。 - 令和3年度は、沿線の魅力事業の発信やイベントの実施、関連グッズの販売等により、利用者の増加を目指す。
広島駅南口開発(株)	- 令和2年度は、売上高は、テナント賃料の減少などにより、対前年度1億3,394万円減の20億3,715万円、売上原価は、エールエールA館の修繕費の増加などにより、対前年度4,034万円増の14億8,384万円、営業利益は、対前年度1億8,541万円減の4億4,564万円となった。 - 令和3年度は、専門店街全体の魅力アップと売上の維持・向上、駐車場や地下広場の利用促進といった取組を進め、長期的に健全で安定した会社経営に取り組む。
広島地下街開発(株)	- 開業20年目を迎えた令和2年度は、平成18年2月市議会で承認された経営改善スキームに基づき修繕費等の経費の削減に努めたが、2年振りに経常損失を計上した。また、当期純損益は、対前年度1億4,689万円減の1億3,582万円の赤字となった。 - 令和3年度は、都心を訪れる人々の「回遊のハブ」として、多様な企業・団体との連携・協働を図りながら、ソフト・ハード両面の取組を進め、コロナ禍の影響が見込まれる中でも、経営基盤の強化と経営改善スキームの達成に向けた収益の回復に努め、広島市のにぎわいと活力の一層の向上に貢献する。



「財政運営方針」について ～広島市の財政状況と健全化への取組～

「財政運営方針(令和2年度～令和5年度)」

基本方針

都市としての
活力を生み出す財政運営

まちづくりを支え続けることが
できる財政運営

将来のまちづくりを
見据えた財政運営

目標

収支の均衡

各年度において歳入確保・歳出削減に努め、計画期間における**収支の均衡**を図る。

〔財政運営方針に掲げる取組を行わなかった場合、4年間で110億円の収支不足が生じる見通し〕

市債残高の抑制

臨時財政対策債の残高及び減債基金積立累計額を除いた実質的な市債残高を、令和2年度から令和5年度までの4年間で**5%程度減少**させる。

2年度	3年度	4年度	5年度
6,837億円	6,809億円	6,670億円	6,506億円

達成状況

収支の均衡

- 令和2年度決算
収支不足は生じていない

市債残高抑制目標

- 令和2年度決算
目標残高 6,837億円 → 実績残高 6,556億円(▲281億円)

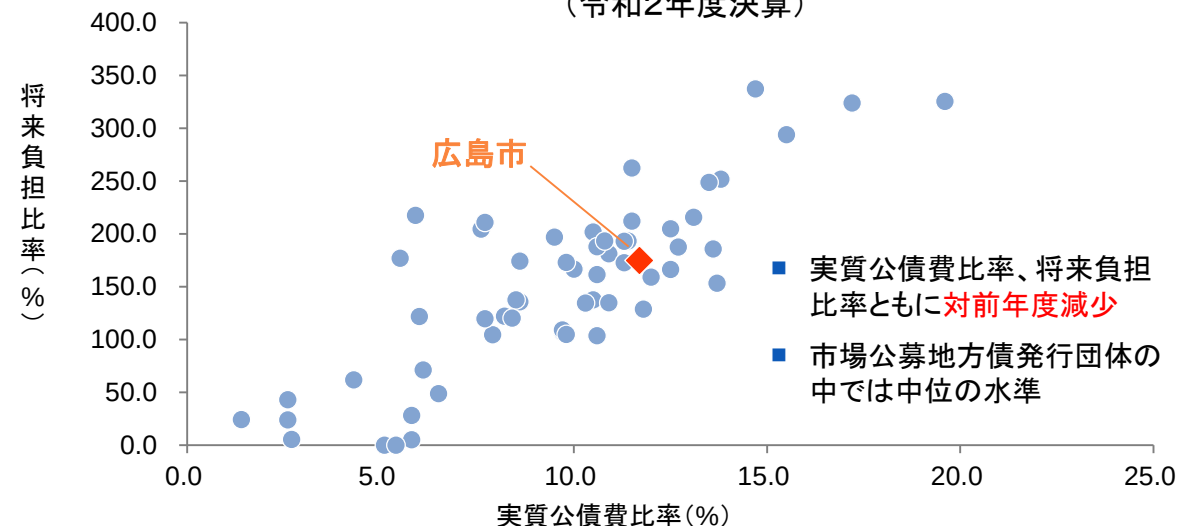


健全化判断比率の状況 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

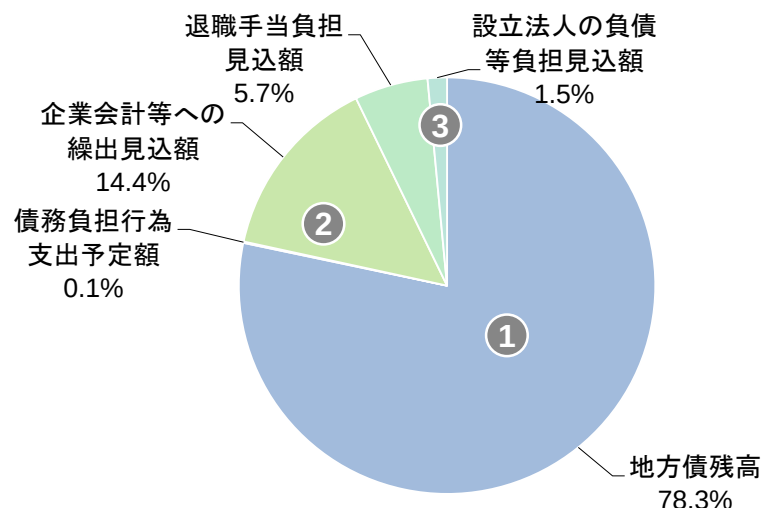
- 実質公債費比率、将来負担比率ともに、近年改善が続けている。

区分	広島市の状況			早期健全化基準	財政再生基準
	H30	R1	R2		
実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)			11.25	20.00
連結実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)			16.25	30.00
実質公債費比率	13.1	12.4	11.7	25.0	35.0
将来負担比率	190.4	183.7	174.7	400.0	—

市場公募地方債発行58団体の健全化判断比率の分布状況
(令和2年度決算)



- 将来負担額(令和2年度算定)15,046億円



① 地方債残高 (億円)	
一般会計債	11,240
うち道路橋りょう・都市計画事業債	3,594
うち臨時財政対策債	4,048
うち教育関係事業債	773
特別会計債	542
合計	11,782

② 企業会計等への繰出見込額 (億円)	
水道事業	24
下水道事業	2,112
安芸市民病院事業	8
中央卸売市場事業	12
その他	6
合計	2,162

③ 設立法人の負債等負担見込額 (億円)	
広島地下街開発(株)	13
広島高速交通(株)	140
その他	73
合計	226



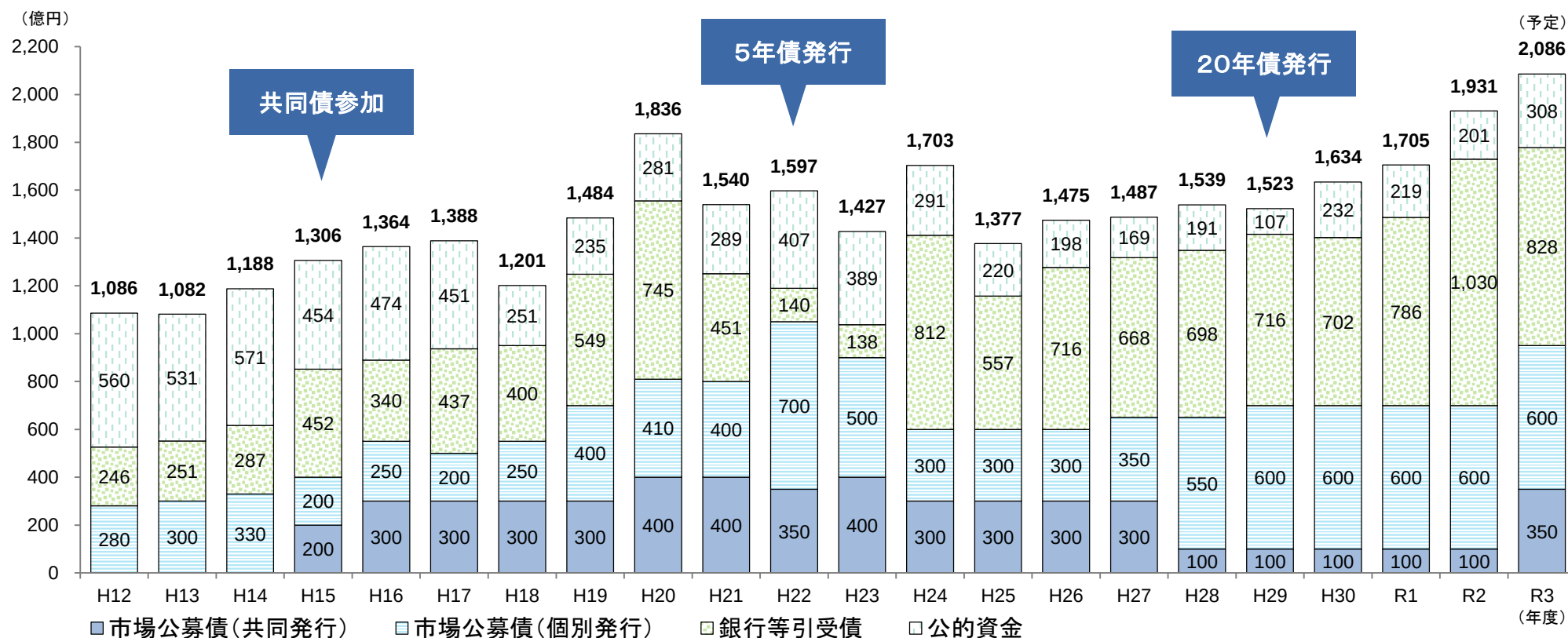
起債運営 ～広島市の資金調達～

資金調達の方針

公的資金から民間資金へ

- 民間資金へのシフトに伴い市場公募化等を推進
- 昭和57年度に全国型市場公募債発行団体となり10年債を発行開始、平成22年度から5年債を発行、**平成29年度から20年債を発行**
- 平成15年度から共同発行市場公募債の発行開始、広島市も参加

市債発行額の推移





市場公募債発行計画 ～広島市の資金調達～

■ 令和3年度 発行計画 (10月までは発行実績)

発行区分	発行年限	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
個別発行 (※)	5年	100							100						200	
	10年								100		100			200		
	20年	100							100					200		
共同発行	10年	100							150	50					50	350
合計		0	0	200	150	100		100		150		100	50	950		

■ (参考) 令和2年度 発行実績

発行区分	発行年限	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
個別発行 (※)	5年	100				100									200
	10年										100		100		200
	20年	100					100								200
共同発行	10年	30				20			30			20		100	
合計		0	0	130	0	100	20	100	130	100	0	120	0	700	

(※) 個別発行の利率

年限	発行月	発行日	表面利率	応募者 利回り
5年	6月	R03.06.25	0.010%	0.010%
	10月	R02.10.26	0.020%	0.020%
	6月	R02.06.25	0.020%	0.020%
	10月	R01.10.25	0.001%	0.001%
10年	2月	R03.02.25	0.145%	0.145%
	12月	R02.12.25	0.125%	0.125%
20年	8月	R03.08.19	0.405%	0.405%
	11月	R02.11.27	0.445%	0.445%
	8月	R02.08.21	0.435%	0.435%



【ご参考】広島市のSDGs達成に向けた取組

「国際平和文化都市」の具現化に向け、目標として明確化

【世界に輝く平和のまち】

■ 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現

- 世界平和の創造に向けた連帯の推進
- 国際世論の醸成



■ 「ヒロシマの心」の共有の推進

- 「迎える平和」の推進
- 被爆体験の継承・伝承



■ 世界の平和と市民生活の安寧の確保に向けた貢献

- 世界の平和に貢献する調査・研究等
- 市民生活の安寧を脅かす諸問題の解決に向けた活動の推進



【国際的に開かれた活力あるまち】

■ 都市機能の充実強化

- 楕円形の都心づくりの推進
- 公共交通を軸とした交通体系の構築



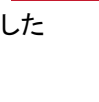
■ 産業・観光の振興

- 産業の集積・強化
- 中小企業・商店街の活性化
- 広域周遊観光の取組の推進
- 誘客拡大と観光消費額増大に向けた取組の推進



■ 国際交流・国際協力や多文化共生の推進

- 外国市民の暮らしやすさに配慮したまちづくりの推進
- 多文化共生意識の高揚



■ 広島広域都市圏の発展への貢献

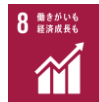
- 「ローカル経済圏」の構築等
- 生活関連サービスの連携強化
- 行政資源の相互利用等



【文化が息つき豊かな人間性を育むまち】

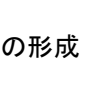
■ 文化・スポーツの振興

- 平和文化の普及・振興
- 伝統芸能・文化遺産の適切な保存・活用とその継承
- スポーツを通じたまちの活力創出



■ 保健・医療・福祉の充実

- 健康づくりの推進と医療提供体制の充実
- 高齢者が安心して暮らせる社会の形成
- 障害者の自立した生活の支援
- 原爆被爆者の援護施策の充実



■ 未来を担う子どもの育成と教育

- 全ての子どもが健やかに育つための環境づくり
- 一人一人を大切にする教育の実現



■ 安全・安心に暮らせる生活基盤の整備

- 災害に強い都市構造の形成





【ご参考】広島グルメガイド



カキ料理



お好み焼き



アナゴ丼



広島オススメグルメ



汁なし担々麺



山フグ（刺身コンニャク）



広島菜漬け



もみじ饅頭



レモンケーキ



本資料に関するお問い合わせ先

広島市財政局財政課資金係（担当 森岡、栃下）

- TEL 082-504-2074
- FAX 082-504-2099
- E-mail zaisei@city.hiroshima.lg.jp
- HP <http://www.city.hiroshima.lg.jp/index2.html>
- トップページ ▶ 市政全般 ▶ 広島市の概要 ▶ 市の財政 ▶ 市債・投資家情報

本資料は、広島市債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、広島市の財政状況等について説明することを目的とするものであり、特定の債券の売り出しまたは募集を意図するものではありません。

本資料中、令和2年度決算に係る数値等については、令和3年10月時点の見込であり、今後変更となる可能性があります。